

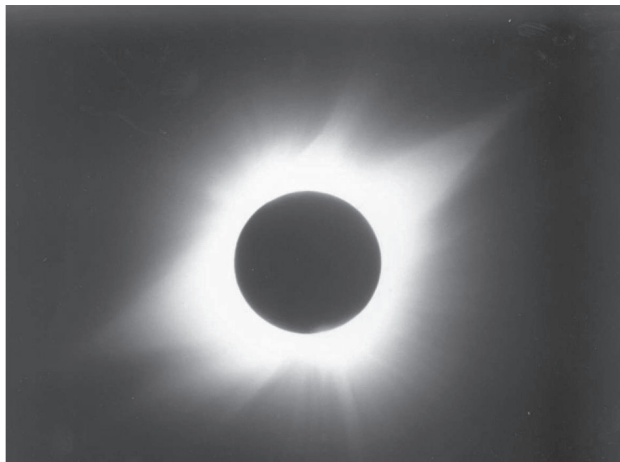
世界天文年の始まりにあたって

黒河 宏企 (NPO 法人花山星空ネットワーク理事長)

皆様、明けましておめでとうございます。

NPO 花山星空ネットワークも 2006 年 4 月の誕生以来この春で満 3 歳を迎えようとしています。今年の世界天文年と呼ばれ、天文学にとって記念すべき年です。既にご存知の方も多いと思いますが、ガリレオ・ガリレイが望遠鏡で史上初の天体観測を始めた 1609 年から、ちょうど 400 年に来たというわけです。

その後の望遠鏡技術と物理学の発展によって現在の我々の宇宙に対する知識は素晴らしく大きく広がっていますが、ガリレオが最初に月の山谷や木星の衛星を発見した時の驚きと興奮はどのようなものであったのでしょうか？ 今後もし我々が他の恒星の周りの惑星に、人に似た生物を発見することがあったとしても、それほどのものにはならないかも知れません。今年の花山天体観望会では、このガリレオの興奮に思いを馳せながら皆さんに楽しんでいただければと思います。



1991 年 7 月 11 日メキシコ日食：京都大学観測隊撮影

また、なんとといっても今年最大のイベントは、46 年ぶりにわが国土（鹿児島県南部諸島）で見られる皆既日食です。次は 2035 年まで見られないばかりか、今回の皆既継続時間が今世紀で最長というのですから見逃せません。この壮大で神秘的な天体ショーを楽しみながら、多くの青少年の心の中に

大自然への畏敬の念と自然科学への興味の芽を育てることができれば、当 NPO の理念に沿ってこんな嬉しいことはありません。今年も皆様方の益々のご支援とご協力をお願い致します。